

平成29年度第1回石狩市行政改革懇話会

日 時：平成29年8月2日（水）14：00～

場 所：石狩市役所3階 庁議室

出席者：次のとおり

委 員			職 員	
役職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会長	角川 幸治	○	(事務局) 総務部長	及川 浩史
副会長	飯尾亜紀仁	欠	(事務局) 総務部行政管理課長	森本 栄樹
委員	能村久美子	○	(事務局) 総務部職員担当主査	宇野 博徳
委員	松谷 初代	○		
委員	向井 邦弘	○		
委員	柴田由美子	○		
委員	橋本フミエ	○		
委員	上木 智子	○		

傍聴人：2名

事務局：森本行政管理課長から開会宣言

- 角川会長からご挨拶いただき、その後引き続き議事進行をお願いします。

【角川会長】

みはなさんこんにちは。

今年度もよろしくをお願いします。

昨年度は、新しい行革大綱の策定の年ということで、最終の懇話会は3月に開催しましたが、その間にKJ法による議論もやり、また現地視察も行い地元の企業や地域に根ざした取り組みをしている団体を訪問して実際目で見るという初めての試みでしたが大変有意義でした。今年度も委員には忌憚のない意見を期待し、活発な議論をお願いしたいと思います。今年度もよろしくお願ひいたします。

また、本日の議題にもありますが、今年度の懇話会の開催のあり方についても協議したいと考えています。それでは早速議事に入ります。議題の1『行政改革大綱2021実施計画(平成29年度版)について』です。内容について、事務局から説明をお願いします。

【事務局：宇野主査】 行政改革2021実施計画(平成29年度版)について

始めに、本日の懇話会は、行政改革 2021 における推進サイクルに沿ったこれまでの動きを委員各位と共有することが大きな主旨の 1 つであります。これを踏まえまして、推進サイクルにおいて、今回の行政改革大綱から初めて導入した「行政改革ヒアリング」を去る 7 月 3 日から 5 日にかけて行った内容を説明するものです。

行政改革ヒアリングでは以下を重点的に聞き取ったところです。

- ①今年度スタートの実施計画掲載事業について、特に「状況変化により事業内容が大幅に変わる事業」について
- ②平成 30 年度に向けた行政改革の推進に資する事業について
- ③組織改変に影響する国等の制度改正の見通し

以上の③については、まだ見えていない状況でありますので、現段階では報告できる内容はございません。

前置きが若干長くなりましたが、以上を踏まえまして議題 1 を説明します。

先に説明しました行政改革ヒアリングにおいては、年度開始から 3 ヶ月程度ということもあり、成果や実績の細かな内容を報告できる段階ではありませんが、現時点で大幅な変更を要する事業はなく、事業ごとに概ね計画に沿って取り進めている状況と聞いております。

また、昨今頻発しております事務処理ミスの対応が喫緊の課題となっていることから、実施計画にも位置付けしております『総合的な業務改善策の検討』に基づいて、業務改善やチェック体制の強化、職員研修等の具体的な取り組みを進めることを考えております。

以上です。

【角川会長】

ただいま説明のあった実施計画(平成 29 年度版)について、確認したいこと、ご意見あればお願いします。

【角川会長】

自治基本条例の見直しについて、現段階で何か動きはあるか。

【事務局:宇野主査】

自治基本条例懇話会が設置され、第 1 回目の会議を行っており、今後第 2 回目が開催されると聞いております。

【向井委員】

実施事業全体に感ずることだが、目標値が設定されていない事業があることと、平成 30 年度以降の取り組み内容があまり詳しく記載されていない事業がある。

【事務局:宇野主査】

これまでの実施計画の反省点を踏まえ、数値を用いて達成度を示すことが難しい事業

については、取り組み内容を記載することとしました。また、特に平成 30 年度以降は平成 29 年度を踏まえて軌道修正を行うことや、新たな取り組み要素が生ずる可能性があるなど、計画策定時には見通せない事情もありました。ただ、平成 29 年度については、取り組み内容が分かっていたため具体的な記載に努めたところであります。

【松谷委員】

本年 3 月に懇話会に示された実施計画案から変更された事業はあるのか。

【事務局:宇野】

事業そのものの変更はありません。字句の修正は若干行っています。

【橋本委員】

重点施策(1)市民協働の更なる推進の「地域自治システムの構築」だが、どのようなモデル事業を実施しているのか。

【事務局:森本課長】

本事業は、合併後厚田・浜益に設置された地域自治区のシステムを旧石狩地区にも展開することを目指して取り組んでいる事業であり、現在花川北の 6 つの町内会による「わかば地区地域会議」により、ラジオ体操やふれあい給食、高齢者見守りやなど地域の課題を地域で解決するというモデル事業を実施している。

【能村委員】

橋本委員の質問を聞いて思ったが、取り組み内容の記載にもっと説明があればよいと思う。せめて場所や取り組み内容等取り組み内容がイメージできる記載であればよいと思う。

【事務局:森本課長】

ご意見については、実施計画平成 30 年度版を作成する際に活かしていきたい。

【能村委員】

重点施策(1)市民協働の更なる推進の「審議会等への女性登用」の取り組みだが、人材リストはどのように作成するのか。

【事務局:森本課長】

所管である広聴・市民生活課において、各関係団体に人材の情報提供の協力をいただいて作成していると聞いています。

【能村委員】

女性の参加は推進すべきだが、女性に限らず多くの市民が参加するために、現在の肩書きを重視するだけでなく、過去の実績・活動も評価するとかなり多くの人材が石狩には存在する。また、学校の PTA で活動している地域を知っている方が参加されるのも

よいと思う。

【上木委員】

マイナンバーの利用状況はどうか。

【事務局:及川部長】

市のサービスとして市民が利用できるものとしては、現状ではコンビニでの住民票等の取得である。

【角川会長】

重点施策(3)時代変化に対応した事務事業の最適化と業務形態の変革「特別簡易型総合評価落札方式の推進」は全道レベルの競争力を高めるような内容としてもらいたい。この制度は企業の企業力をつける意味で企業にも有益となると考えている。

【事務局:森本課長】

この制度の実績として平成 25 年度から平成 27 年度で 1 件、平成 28 年度では 4 件と数を増やしてきています。見直しの点としては、地域貢献として「災害協定の締結」や「地域でのボランティア活動」、その他「下請けに地元企業を入れているか」など、石狩市としてどのような形がいいのか鋭意見直していると聞いています。今のご意見については担当に伝えます。

【角川会長】

1 つ例を挙げると工事点数による競争があり、国や北海道、札幌市ではウエイトが大きい聞いてます。これは工事ごとに発注者が事業者にも点数をつける制度で、その点数により次の工事に影響することもあるとあって、各事業者も企業力や仕事の成果のレベルを高めようと真剣になっている。

【松谷委員】

「総合的な交通施策を推進するための組織連携」について、現状どのような動きとなっているのか

【事務局:森本課長】

今年度新たに企画課内に交通担当課長を配置し、関係事業者や団体などによる協議を進めることとしている。具体的な事業実施のための国等の補助金の交付を受けるためには協議体の組織が必要とされており、現在準備を進めている状況と聞いている。ゆくゆくは総合的な交通体系に関する計画を 3 年程度かけて策定する方向性である。

【能村委員】

昨今高齢者の免許返納が話題となっており、自分自身もいつまで運転できるか考えると交通の問題は重要。事業者にとっては難しいこともあるだろうが、市民の足をど

のように確保するかの視点にたって柔軟なシステムを期待する。

【向井委員】

「指定管理者の評価の見直し」について、評価内容はどのように変わる見込みなのか。

【事務局:森本課長】

指定管理者はその管理する施設等によって、施設管理型と事業実施型の2タイプあるが、課題となっているのは、例えば町内会館のような施設管理型であり、具体的には、多数の利用者による収入が見込めない中で、修繕を自前で行って費用を節約したにも関わらず市の補助が減るというシステムをどうするかという点であり、運営努力をどのように評価するかが課題となっている。

【角川会長】

職員の人材育成について、外部講師を活用するのも有効だと思うが、今年度の実施の予定はあるのか。

【事務局:森本課長】

実務研修において外部講師を活用する計画はあるが、仕事全般に関わるようなその道のプロと呼べる講師を招聘する予定は今のところない。しかし過去の実績から評価されている経緯があることから、上手に活用できればよいと考えている。

【能村委員】

実施計画全体に言えることだが、目標値がない事業がほとんどである。取り組んだ結果の評価することを考えると、達成率といった数値化はあった方がよいのではないかと。また、(5)健全な財政基盤の構築は、他の重点施策と異なり年度別がなく、最終年度の目標値のみの記載となっている。

【事務局:宇野主査】

この部分は内部でかなり議論しましたが、結果として今の形になりました。これまでの行革においてもすべての事業の達成度を数値化することに問題意識がありました。特にソフト事業の達成度は人によって異なる場合があり、そもそも目標が数字で示されないものが入っている場合は難しい。ただし、逆に数値化できる事業は達成率を示すこととしている。各年度における実績については、どのようなことに取り組んだのかが分かるような記載としたい。

財政基盤の構築については、財政状況はその年度において政策的な需要が生じるなど不確定要素があり、単年度より一定期間における評価とすることが妥当であるとの考えにより、このような形となっていることをご理解いただきたい。

【事務局:及川部長】

実施計画に関わる、事業内容の記載仕方や取り組みの進め方についてのご意見については平成 30 年度版実施計画の中で検討します。各所管にも懇話会の意見として伝えま
す。また財政の評価については、全体としては先ほど事務局の説明にあったとおりです
が、各年度の動きとして最終目標値に対してどのような方向に向かっているかの確認は
必要ですので、各年度の実績値については参考として懇話会にお示ししたいと思います。

【角川会長】

事務局には、今話しがあった内容をご検討いただくこととしたいと思います。議題 1
についてはよろしいですか。それでは議題 2「平成 30 年度の行政改革の方向性について」
事務局から内容の説明をお願いします。

【事務局:宇野主査】

先ほど説明しました行政改革ヒアリングにおいて、次年度以降将来を見据えた取り組
みがいくつか進むものと考えております。事業概要は資料 1 をご覧ください。

まず、重点施策の(1)「市民協働の更なる推進」では、厚田支所地域振興課が所管する
「新たな住民どうしの支えあいのシステムの構築」です。

また、重点施策の(3)「時代変化に対応した事務事業の最適化と業務形態の変革」では、
農政課などが所管する「課題に応じた柔軟な組織づくりの取り組み」、ごみ・リサイクル
課が所管する「行政サービスの広域化による業務効率・経費節減の推進」、社会教育課が
所管する「公の施設のアウトソーシングの推進」であります。今後年度末にかけ、これ
らの事業のほかにも行政改革に資する取り組みについて、庁内での検討を進めてまいり
ます。現段階で説明申し上げられる取り組みについては以上です。

【角川会長】

ただいま事務局から説明のありました議題 2 について、ご質問、ご意見などありませ
んか。

【柴田委員】

厚田支所での取り組みは評価できる。ぜひ取り組みを進めて欲しい。

【橋本委員】

住民どうしの支えあいは、これからどの地域でも必要となってくる。厚田地区での取
り組みをモデルとして、全市的に展開されることを期待する。

【柴田委員】

農業関係の事務手続きが一つの窓口でできるようになれば農業者も助かると思う。ぜ
ひ進めて欲しい。

【角川会長】

次年度以降の実施計画の方向性については、現段階では説明のあった取り組みであるが、今後年度末に向けて庁内でも議論されるとのことなので、懇話会としても適宜審議していきたい。

それでは議題3「平成29年度行政改革懇話会の進め方について」事務局から内容の説明をお願いします。

【事務局:宇野主査】

配付しました参考ペーパーをご覧ください。行政改革懇話会は行政改革大綱2021における推進サイクルに基づき、実施計画の実績、次年度計画の審議など、進捗に応じた時期に開催することとしております。この通常サイクルとは別に、審議の補完するものとしての「調査・視察」を実施するかどうかについて、ご意見をいただきたいと思っております。

【角川会長】

推進サイクルに基づき、通常の審議日程については概ね決まってくるものと思いますが、昨年度も実施しました調査・視察のための懇話会について実施するか、しないか、委員のみなさまいかがですか。

【各委員】

(今年度も実施するべきという意見)

【角川会長】

懇話会としては実施するべきという意見ですので、コースや内容、時期については、参考ペーパーにある昨今のキーワードに基づき、私と事務局とで調整しながら、委員の皆さんにもご意見や日程調整をさせていただきます。

【角川会長】

本日の議題は以上ですが、その他として委員のみなさんから何かございますか。
事務局からはありますか。

【事務局:宇野主査】

調査・視察については、会長からありましたように、内容・日程など原案を作成し、会長と調整させていただき、委員のみなさまにもご提案・日程確認をしますので、よろしく申し上げます。以上です。

【角川会長】

本日はこれで散会したいと思います。委員のみなさま本日は大変お疲れ様でした。

(閉会)

平成29年 8月30日 議事録確定

石狩市行政改革懇話会 会長 角川幸治